



2019年6月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

2018年10月31日

上場会社名 株式会社インテリジェント ウェイブ
 コード番号 4847 URL <http://www.iwi.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 井関 司

問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役 (氏名) 垣東 充 TEL (03)6222-7015

四半期報告書提出予定日 2018年11月2日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2019年6月期第1四半期の業績 (2018年7月1日~2018年9月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年6月期第1四半期	2,337	0.7	70	△45.1	78	△38.7	48	△42.3
2018年6月期第1四半期	2,322	40.4	128	239.6	128	243.1	83	313.8

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年6月期第1四半期	1.83	—
2018年6月期第1四半期	3.16	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年6月期第1四半期	8,896	5,543	62.3
2018年6月期	8,837	5,715	64.7

(参考) 自己資本 2019年6月期第1四半期 5,543百万円 2018年6月期 5,715百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期 末	合 計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年6月期	—	0.00	—	7.00	7.00
2019年6月期	—	—	—	—	—
2019年6月期(予想)	—	0.00	—	7.00	7.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無: 無

3. 2019年6月期の業績予想 (2018年7月1日~2019年6月30日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	4,700	0.2	320	68.3	330	67.5	230	77.9	8.74
通 期	10,700	0.9	880	60.7	900	56.9	620	64.3	23.56

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無: 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2019年6月期1Q	26,340,000株	2018年6月期	26,340,000株
② 期末自己株式数	2019年6月期1Q	25,800株	2018年6月期	23,800株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2019年6月期1Q	26,314,705株	2018年6月期1Q	26,328,000株

※四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記に記載した予想数値は、現時点での入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。業績の前提となる条件及び業績予想の利用にあたっての注記事項等については、添付資料3ページ「(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(追加情報)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間の国内経済情勢は、緩やかな拡大を続けており、個人消費は雇用環境の着実な改善を背景に緩やかに増加し、設備投資は企業収益が改善基調を維持するなかで増加傾向を続けている、といわれています。

当社の主要な事業領域である金融業界、クレジットカード業界においても基調は変わらず、設備投資案件に係る商談は堅調に推移しています。

当第1四半期累計期間においては、売上高は2,337百万円（前年同四半期比0.7%増）、営業利益70百万円（前年同四半期128百万円）、経常利益78百万円（前年同四半期128百万円）、四半期純利益48百万円（前年同四半期83百万円）を計上しました。

前年同四半期と比較して、売上高は前期並みとなりましたが、ソフトウェア開発業務に係る売上高のうち、請負契約によるものの比率が一時的に減少したことや、販管費の増加等により、営業利益は前期の実績を下回りました。

(金融システムソリューション事業)

金融システムソリューション事業においては、主にクレジットカード会社を中心とした顧客に対して、ソフトウェア開発や保守、パッケージソフトウェア及びハードウェアの販売による売上を計上しました。

売上高は2,140百万円（前年同四半期2,145百万円）、営業利益は104百万円（前年同四半期164百万円）となりました。

前年同四半期は、大型のシステム開発案件の受託業務に係る売上を計上したことにより売上高を伸ばすことができましたが、当期においては、この大型案件についての売上高は減少しました。代わって既存顧客向けのシステム更改や機能の追加による開発案件とソフトウェア、ハードウェアの販売、並びにクラウドサービスの売上によって、前年度並みの売上を計上しました。

ソフトウェア開発業務に係る売上のうち、大型開発案件の売上高が減少したこと等により、一時的に請負契約によるソフトウェア開発業務の売上高の比率が減少し、準委任契約による売上高が増加したため、利益の実績が前期を下回りました。

(プロダクトソリューション事業)

プロダクトソリューション事業においては、企業組織内部からの情報漏えいを防ぐ当社製パッケージソフトウェアCWAT（シーワット）と、外部からのサイバー攻撃を防ぐ他社製パッケージソフトウェアTraps（トラップス）の販売等によって、売上高は197百万円（前年同四半期176百万円）、営業損失は34百万円（前年同四半期営業損失35百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期会計期間末における資産の残高は、前事業年度末に比べ59百万円増加し、8,896百万円となりました。うち流動資産は、前事業年度末に比べ84百万円増加し、5,118百万円となりました。これは主に、たな卸資産251百万円の増加、現金及び預金270百万円の減少があったためです。固定資産は、前事業年度末に比べ25百万円減少し、3,777百万円となりました。これは主に、投資有価証券99百万円の減少があったためです。

(負債)

当第1四半期会計期間末における負債の残高は、前事業年度末に比べ231百万円増加し、3,352百万円となりました。これは主に、支払手形及び買掛金138百万円の増加並びに前受金134百万円の増加があったためです。

(純資産)

当第1四半期会計期間末における純資産の残高は、前事業年度末に比べ171百万円減少し、5,543百万円となりました。これは主に、利益剰余金136百万円の減少及びその他投資有価証券評価差額金35百万円の減少があったためです。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2018年8月1日付「平成30年6月期 決算短信」で公表した業績予想に変更はありません。
今後とも継続的に売上高の増加とそれに伴う営業利益の増加を目指して事業展開を行います。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2018年6月30日)	当第1四半期会計期間 (2018年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,839,698	2,569,109
受取手形及び売掛金	1,092,603	1,072,103
たな卸資産	547,000	798,135
その他	554,733	679,473
流動資産合計	5,034,035	5,118,821
固定資産		
有形固定資産	519,838	543,482
無形固定資産		
ソフトウェア	1,098,004	1,341,846
その他	416,842	188,622
無形固定資産合計	1,514,846	1,530,468
投資その他の資産		
投資有価証券	954,052	854,790
その他	875,874	910,334
貸倒引当金	△61,629	△61,629
投資その他の資産合計	1,768,297	1,703,494
固定資産合計	3,802,981	3,777,446
資産合計	8,837,017	8,896,267
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	543,354	681,357
未払法人税等	83,433	85,466
前受金	1,053,670	1,187,966
製品保証引当金	14,580	—
賞与引当金	237,254	350,485
役員賞与引当金	18,960	3,939
その他	571,559	459,222
流動負債合計	2,522,812	2,768,438
固定負債		
退職給付引当金	421,554	418,499
役員退職慰労引当金	22,102	19,333
資産除去債務	80,948	81,133
その他	74,313	65,425
固定負債合計	598,918	584,391
負債合計	3,121,730	3,352,830

(単位：千円)

	前事業年度 (2018年6月30日)	当第1四半期会計期間 (2018年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	843,750	843,750
資本剰余金	561,186	561,186
利益剰余金	4,018,414	3,882,271
自己株式	△14,872	△14,872
株主資本合計	5,408,478	5,272,336
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	306,807	271,101
評価・換算差額等合計	306,807	271,101
純資産合計	5,715,286	5,543,437
負債純資産合計	8,837,017	8,896,267

(2) 四半期損益計算書

第1四半期累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自2017年7月1日 至2017年9月30日)	当第1四半期累計期間 (自2018年7月1日 至2018年9月30日)
売上高	2,322,076	2,337,451
売上原価	1,771,352	1,811,925
売上総利益	550,724	525,526
販売費及び一般管理費	422,125	454,956
営業利益	128,598	70,569
営業外収益		
受取利息	256	195
受取配当金	450	506
受取保険金	—	4,000
助成金収入	—	3,474
その他	520	946
営業外収益合計	1,227	9,122
営業外費用		
支払利息	325	46
コミットメントフィー	936	1,005
その他	312	17
営業外費用合計	1,575	1,070
経常利益	128,250	78,622
特別利益	—	—
特別損失		
固定資産除却損	0	—
特別損失合計	0	—
税引前四半期純利益	128,250	78,622
法人税、住民税及び事業税	64,185	74,107
法人税等調整額	△19,198	△43,556
法人税等合計	44,987	30,551
四半期純利益	83,263	48,070

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第1四半期累計期間(自 2018年7月1日 至 2018年9月30日)

該当事項はありません。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

当第1四半期累計期間(自 2018年7月1日 至 2018年9月30日)

該当事項はありません。

(追加情報)

(『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

『税効果会計に係る会計基準』の一部改正(企業会計基準第28号 2018年2月16日)等を当第1四半期会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しています。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期累計期間(自 2017年7月1日 至 2017年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計
	金融システム ソリューション事業	プロダクト ソリューション事業	計	
売上高				
外部顧客への売上高	2,145,545	176,530	2,322,076	2,322,076
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—
計	2,145,545	176,530	2,322,076	2,322,076
セグメント利益又は損失(△)	164,356	△35,757	128,598	128,598

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

セグメント利益又は損失の金額の合計額は、四半期損益計算書の営業利益と一致しているため、差異調整は行っていません。

Ⅱ 当第1四半期累計期間（自 2018年7月1日 至 2018年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント			合計
	金融システム ソリューション事業	プロダクト ソリューション事業	計	
売上高				
外部顧客への売上高	2,140,005	197,445	2,337,451	2,337,451
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—
計	2,140,005	197,445	2,337,451	2,337,451
セグメント利益又は損失(△)	104,814	△34,245	70,569	70,569

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

セグメント利益又は損失の金額の合計額は、四半期損益計算書の営業利益と一致しているため、差異調整は行っていません。